

事業番号	事務事業名	町道吉原塚谷線防災対策事業	所管課名	建設課	令和 3 年度課長名	岩佐 誠己
04947	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 健治
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R1 年度 ~ R3 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町道法面改良を社会資本整備総合交付金(道路)、緊急自然災害防止対策事業(道路防災)で行う事業 L=64m W=6.5m 2年計画の 1年目 測量設計、用地・物件補償 2年目 工事施工	本路線は国道179号であったが、現在は町道として管理されている主要道路であり、吉原地内から塚谷地内を繋ぐ住民の生活道路になっている。 平成30年7月豪雨により、地盤の緩みが発生し、道路に隣接していた民家に被害が生じた。地域住民より早期の復旧が要望されている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象しているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込 実績	1,000 1,000	1,000 1,000	1,000 1,000		
イ	イ 町道吉原塚谷線総延長	m	見込 実績	6,332 6,332	6,332 6,332	6,332 6,332		
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 防災対策延長	m	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	64 0 0.0%	64 64 100.0%		#DIV/0!
イ	イ 不具合・トラブル・要望件数	件	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!		#DIV/0!
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 工事管理、業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率	50 50 100.0%	50 50 100.0%	50 50 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費		町道吉原塚谷線防災対策事業					04947
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比		
国庫支出金	3,814					国庫支出金	3,814							
県支出金						県支出金								
町 債		30,000	30,000			町 債			30,000			30,000		
その他特財						その他特財			1,207			1,207		
一般財源	12,386	6,550	4,700		-1,850	一般財源	9,967	1,765				-1,765		
合計	16,200	36,550	34,700		-1,850	合計(A)	13,781	1,765	31,207			29,442		
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債					従事正職員人数	2	2	2					
						延べ業務事務時間	100	100	100					
						人件費計(千円)(B)	350	334	335			1		
	最終予算額		34,700 千円		予算執行率	89.9%	トータルコスト(A+B)	14,131	2,099	31,542			29,443	
主な 支出事業内容 (予 算)	工事請負費					34,700 千円	主な 支出事業内容 (決 算)	工事請負費					31207 千円	

事業番号	04947	事務事業名	町道吉原塚谷線防災対策事業	所管課名	建設課
------	-------	-------	---------------	------	-----

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
防災対策の実施により、今後利用者の安全が確保される。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
当該現場に適した工法、経済性等の検討を行い実施する。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
現在に至るまで、多大の危険及び不便を抱えていた利用者が、改良事業により改善できる事を大いに期待しているとの意見が多数寄せられている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町道であり、公共性があるため妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 防災工事を実施することで通行者の安全な通行が確保される。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 特に無し。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での工事により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									